

## (特非) 持続可能な開発のための教育推進会議

# ESD の 10 年：市民による ESD 推進の 評価事業

イベントの 延べ参加者数	100 人
評価原稿を執筆し て頂いた関係者	61 人
活動の全体目標 に対する達成度	70%



ESD 世界会議からセカンドステージへワークショップ

### ◆成果と工夫したポイント

#### ●成果

ESD-J が発足して 12 年間に展開してきた活動とその成果を、50 名を超える人々に文章化していただき、取りまとめた。また、座談会では市民社会形成の視点からこれら进行评估し、今後に向けた展望を探った。

#### ●工夫

原稿は NPO、行政、企業、政治家等、多様なステークホルダーに執筆依頼。座談会で市民社会の視点を強化。

### 課題

ESD の 10 年以降、ESD 推進施策に市民社会の声を反映させる仕組みづくりが喫緊の課題であり、10 年の評価を踏まえ、そのあり方を検討・再構築することが必要である。

### 目標

持続可能な開発のための教育推進会議（以下、ESD-J）の 12 年間の取組みを市民社会の視点から整理し、評価し、2015 年以降の ESD 推進に有益な教訓としてまとめることで、ESD のセカンドステージを支える仕組みづくりに貢献することを目標とする。

### 活動内容

ESD-J の 12 年間の活動をふりかえり、とりまとめ、評価し、発信するために、以下の活動を行った。

- ・[ESD 世界会議からセカンドステージへ 公開ワークショップ] 開催
- ・ESD-J の 12 年評価方法検討と資料整理、年表作成（検討会議 2 回、企画ワーキンググループ 2 回）
- ・ESD-J 活動報告書（2003-2015）「市民社会からの挑戦－ESD 推進 12 年間の軌跡」発行
- ・ESD-J12 年の成果を取りまとめ、ウェブサイトで公開

### 達成できなかったこと

全体的にスケジュールが後ろ倒しになったため、その普及にける時を持ってなかった。

### 今後の展望

報告書の増刷・頒布、ウェブサイトへの公開などにより、市民社会からの取組みを周知したい。



ESD-J の 12 年間の  
ネットワーク（樹形図）